


管内經濟情勢報告










令和 5 年 7 月
財務省 四国財務局

四国財務局管内経済情勢報告

	令和5年4月判断	令和5年7月判断	総括判断の要点	4月判断との比較
総括判断	緩やかに持ち直している	持ち直している	<p>個人消費は、コンビニエンスストアやドラッグストアが順調となっているほか、観光も回復しつつあるなど、全体としては持ち直している。</p> <p>生産活動は、電気機械が弱含んでいるものの、食料品が持ち直しつつあるほか、汎用・生産用機械が緩やかに持ち直しているなど、全体としては一進一退の状況にある。</p> <p>雇用情勢は、緩やかに持ち直している。</p>	 (2期ぶり 上方修正)

〔先行き〕

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、持ち直しが続くことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

項目	令和5年4月判断	令和5年7月判断	4月判断との比較
個人消費	緩やかに持ち直している	持ち直している	
生産活動	弱含んでいる	一進一退の状況にある	
雇用情勢	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
公共事業	前年度を下回っている	前年度を上回っている	
住宅建設	前年を上回っている	前年を下回っている	
設備投資	4年度は前年度を上回る見込み	5年度は前年度を上回る見込み	
企業収益	4年度は増益見込み	5年度は減益見込み	

※ 5年7月判断は、前回4月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

個人消費

個人消費 持ち直している

(2期ぶり上方修正)

- スーパーは、身の回り品等に動きがみられるほか、飲食料品が堅調であることから、全体としても堅調となっている。
- コンビニエンスストアは、飲料品や米飯類等が順調であることから、全体としても順調となっている。

〔主なヒアリング結果〕

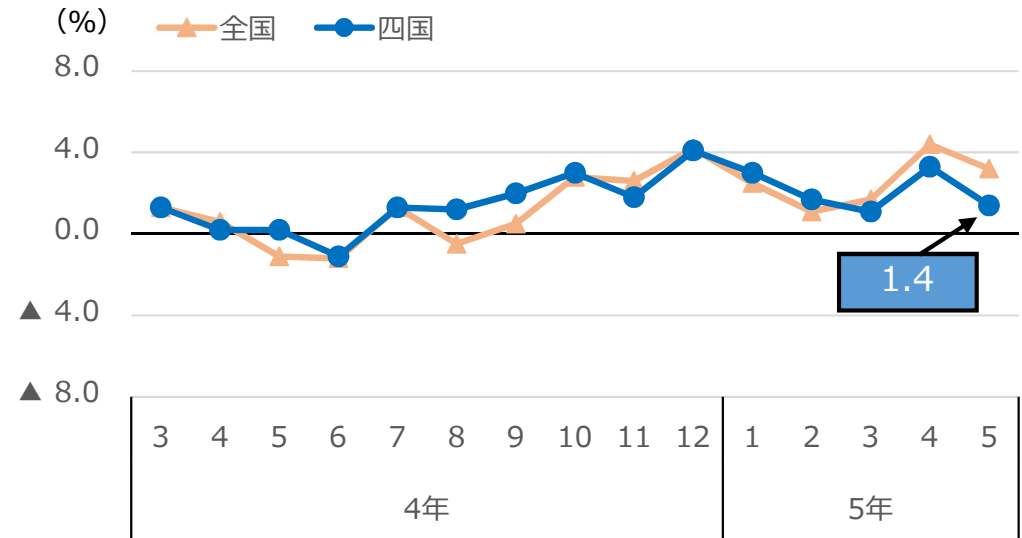
「スーパー」

- 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、お出かけ需要や旅行需要が更に伸びており、キャリーバッグや化粧品、スキンケア商品の売れ行きが好調。
- 節約志向が高まるなか、比較的割安感のあるミンチ肉や低価格帯のアルコール飲料の売上が伸びている。
- 行楽需要や人が集まる機会の増加を背景に、バーベキュー用の肉やオードブル・寿司などの総菜が好調となっている。

「コンビニエンスストア」

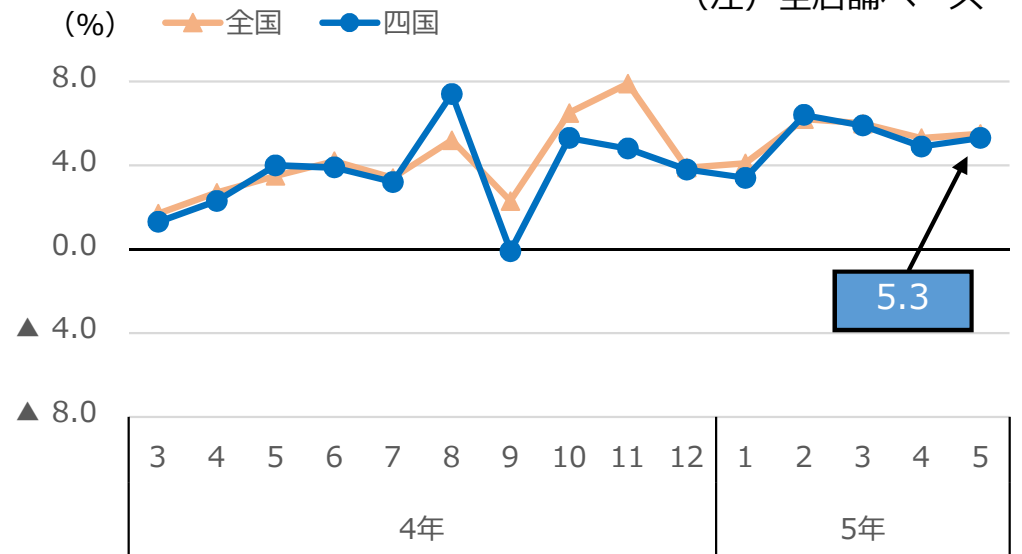
- 行楽需要や観光客の増加などを背景に来店客数が増え、おにぎりやペットボトル飲料などの売上が伸びている。
- 県内で宿泊する観光客が増えており、宿泊施設周辺の店舗を中心にアルコール飲料やスナック菓子の売上が伸びている。

〔スーパー販売額（前年同月比）〕 (注) 全店舗ベース



〔コンビニエンスストア販売額（前年同月比）〕

(注) 全店舗ベース



【出所】 経済産業省、四国経済産業局

個人消費

- ドラッグストアは、飲食料品が順調であるほか、化粧品に動きがみられることから、全体としては順調となっている。
- 家電大型専門店は、一部の高付加価値製品に動きがみられるものの、販売価格の上昇などを背景に、全体としては弱含んでいる。
- ホームセンターは、防災用品や防犯用品等に動きがみられるほか、日用品が底堅いことから、全体としても底堅いものとなっている。

〔主なヒアリング結果〕

◀ドラッグストア▶

- 取扱いを強化している冷凍食品や生鮮食品の売れ行きがよい。
- 外出機会やマスクを外す機会が増加したことで、化粧品の売上が回復傾向にある。

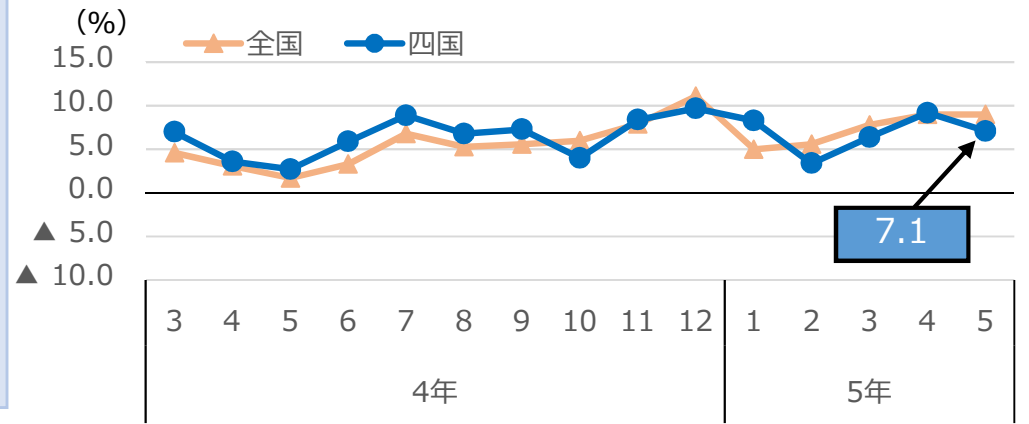
◀家電大型専門店▶

- 自動洗剤投入機能付きの洗濯機や、自動掃除機能付エアコン等に人気が出ているものの、販売価格の上昇などを背景に、幅広い品目で買い控え傾向がみられる。

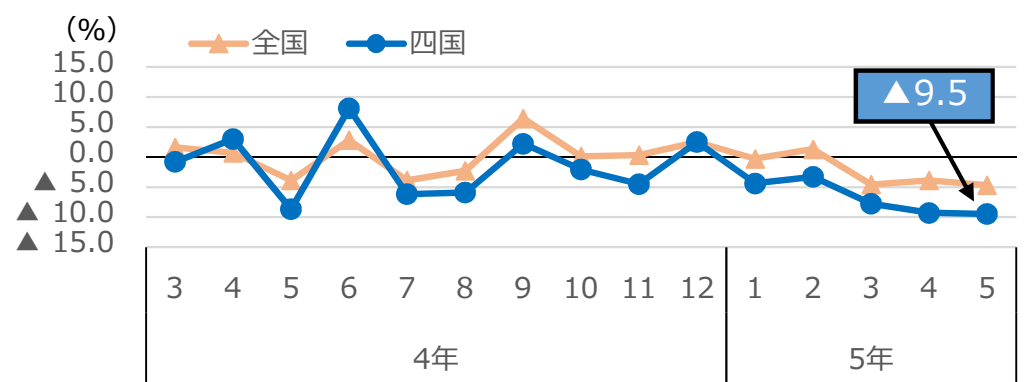
◀ホームセンター▶

- ティッシュペーパー等の日用品は、スーパーやドラッグストアとの競争が激しいものの、生活必需品であることから、一定程度の売上を維持できている。
- 全国で地震が相次いだことなどを背景に、家具の転倒防止グッズ等の防災用品の売上が伸びたほか、全国的な強盗事件の発生を受けて補助錠等の防犯用品の売上也伸びている。

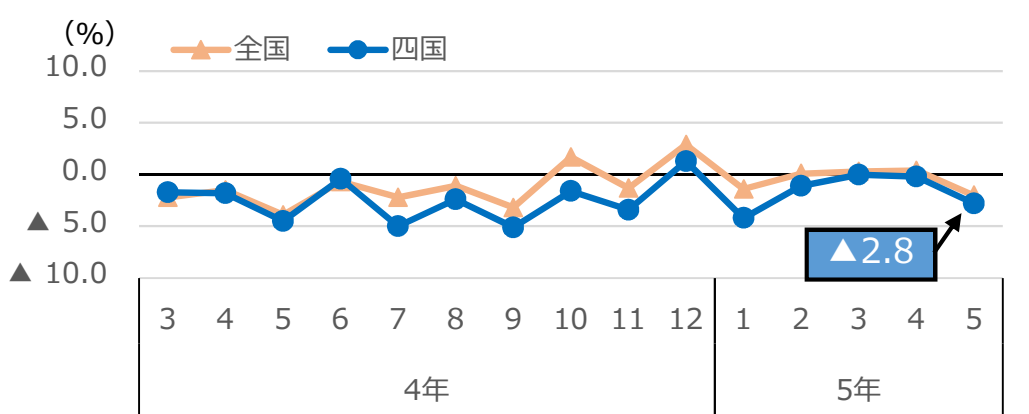
〔ドラッグストア販売額（前年同月比）〕（注）全店舗ベース



〔家電大型専門店販売額（前年同月比）〕（注）全店舗ベース



〔ホームセンター販売額（前年同月比）〕（注）全店舗ベース



〔出所〕 経済産業省、四国経済産業局

個人消費

- 百貨店は、高額品に弱さがみられるものの、衣料品や身の回り品に動きがみられることから、全体としては緩やかに持ち直しつつある。
- 乗用車の新車登録・届出台数は、普通車、小型車、軽乗用車のいずれにおいても前年を上回っている。
- 観光は、外出機運の高まりにより、回復しつつある。
- 国内旅行は、緩やかに回復しつつあり、海外旅行は、持ち直しの兆しがみられる。

〔主なヒアリング結果〕

「百貨店」

- 高級時計が品薄で売上に繋がっていないものの、外出機運の高まりから、衣料品やハンドバッグ等に動きがみられる。

「乗用車」

- 半導体不足の改善により登録台数は順調に増加している。

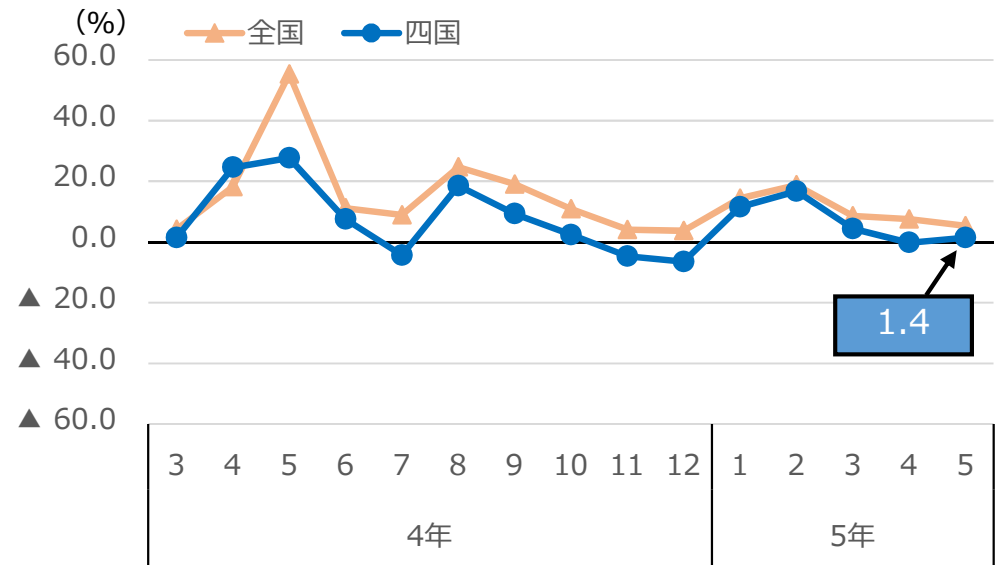
「観光」

- 新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、国内観光客、外国人観光客ともに増加している。団体客も回復傾向で、ツアーバスの台数は昨年の上回っている。

「旅行」

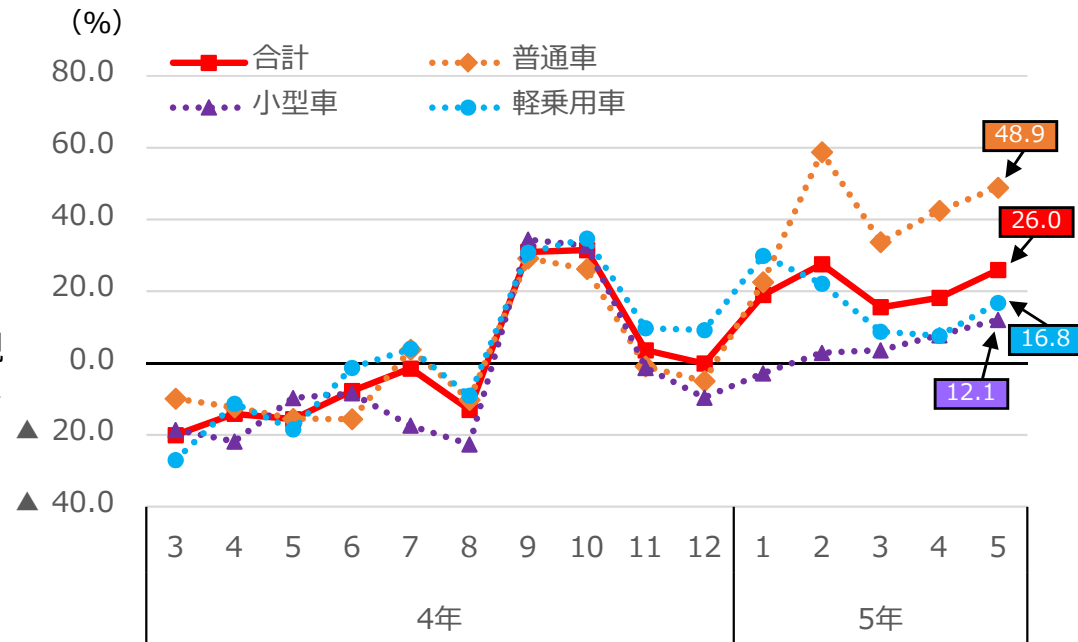
- 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴って、イベントが通常通り行われるようになったこともあり、国内旅行の需要は順調である。

〔百貨店販売額（前年同月比）〕 (注) 全店舗ベース



【出所】 経済産業省、四国経済産業局

〔四国の乗用車新車登録・届出台数（前年同月比）〕



【出所】 四国運輸局の公表データから算出

生産活動

生産活動

一進一退の状況にある

(8期ぶり上方修正)

○食料品は、堅調な需要を背景に、持ち直しつつある。汎用・生産用機械は、設備投資関連の堅調な需要を背景に、緩やかに持ち直している。電気機械は、電子部品に弱さがみられることから、弱含んでいる。こうしたことから、全体としては一進一退の状況にある。

〔主なヒアリング結果〕

◀食料品▶

○新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症になり、外食向け需要は更に増加している。

◀汎用・生産用機械▶

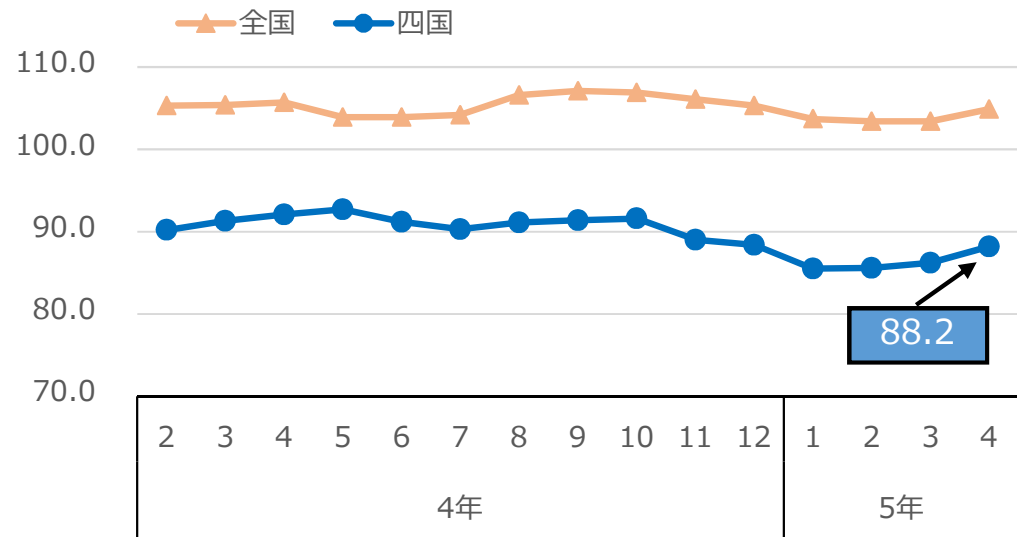
○自動車関連需要は、設備更新時期に加え、自動車生産の回復もあって、受注は増えている。

◀電気機械▶

○中国向けのスマートフォン電子部品について、引き続き在庫調整が行われていることから、生産量が減少している。

〔鉱工業生産指数（季節調整済指数、3か月移動平均）〕

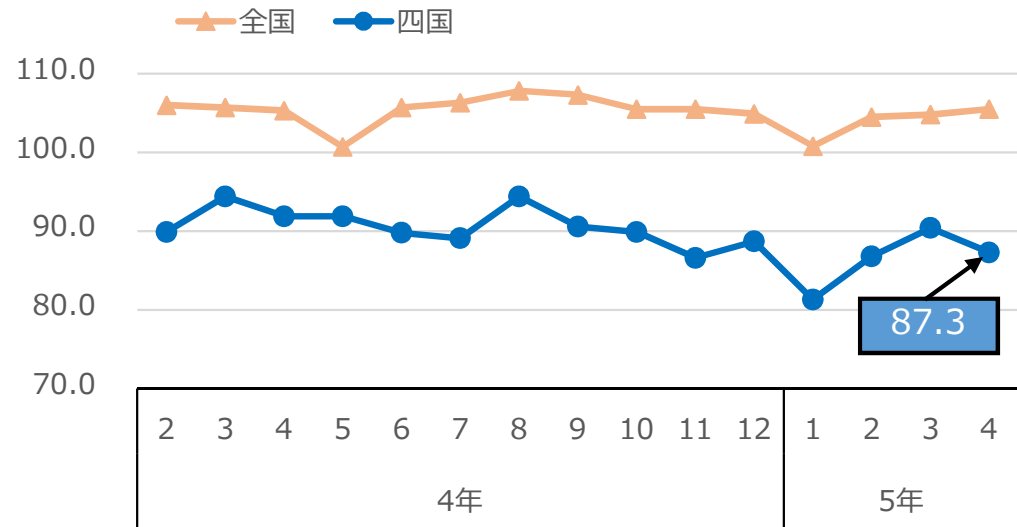
(四国：平成27年=100、全国：令和2年=100)



【出所】経済産業省、四国経済産業局の公表データから算出

〔鉱工業生産指数（季節調整済指数、単月）〕

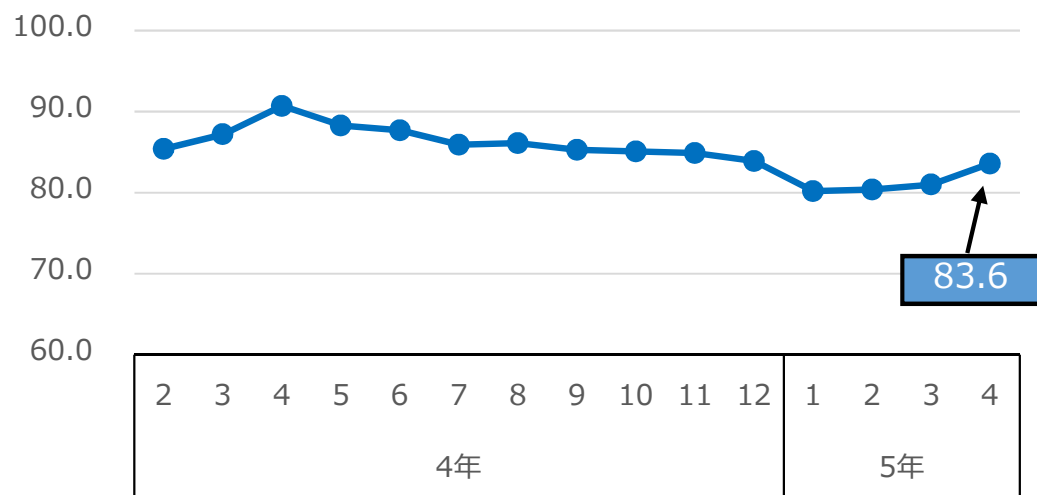
(四国：平成27年=100、全国：令和2年=100)



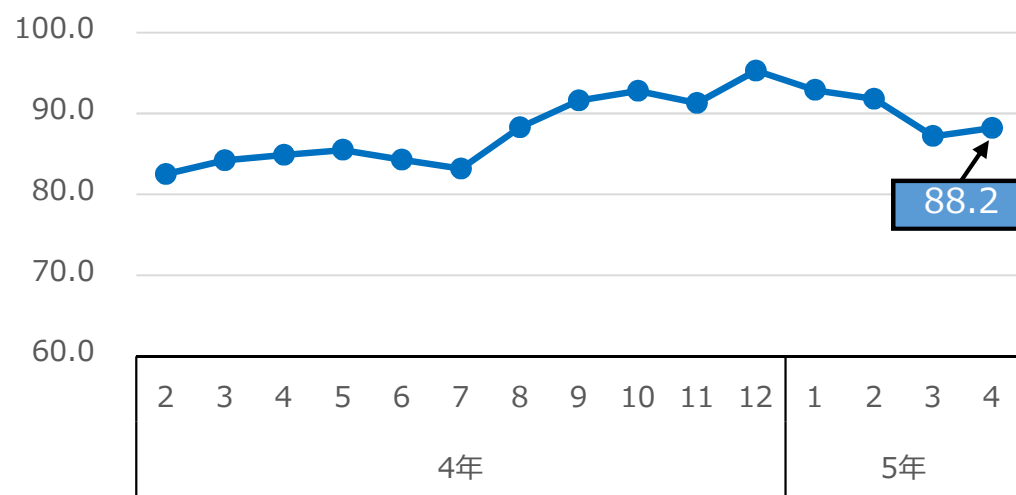
【出所】経済産業省、四国経済産業局

生産活動

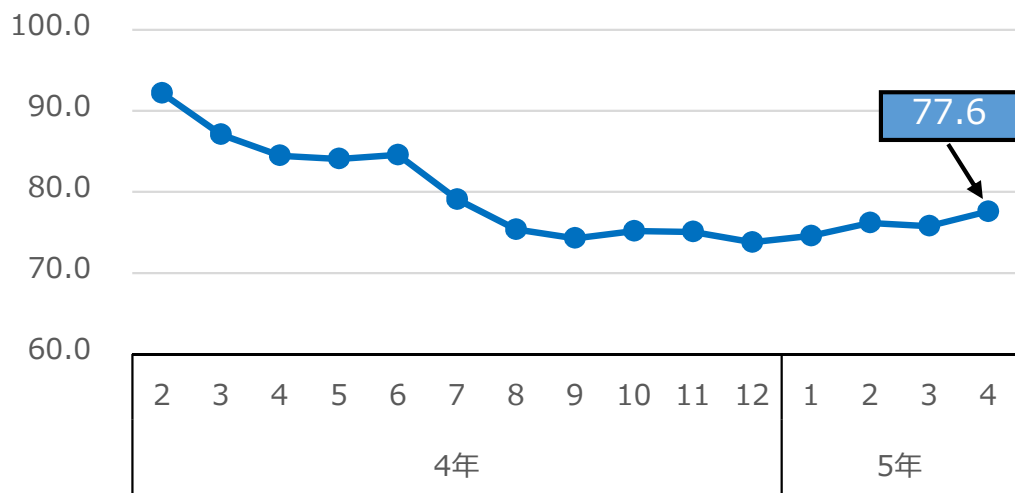
〔食料品〕



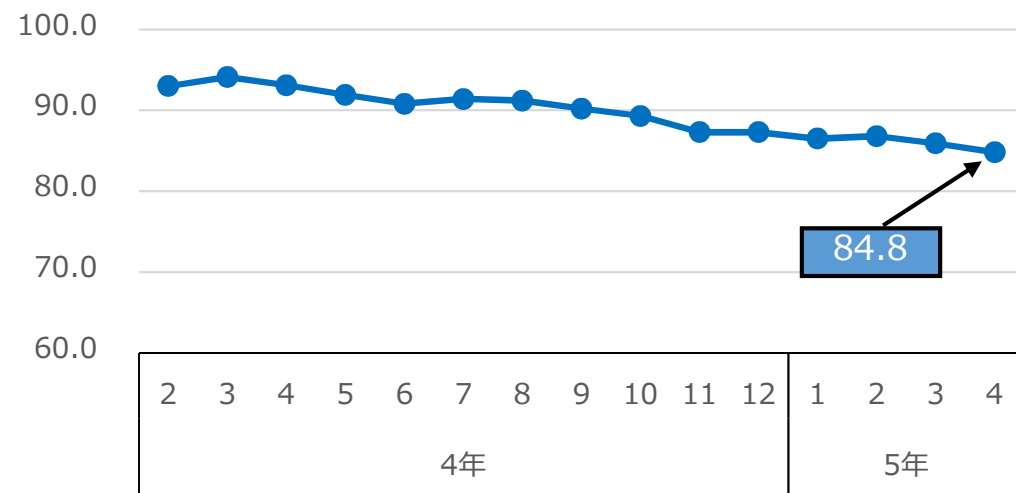
〔汎用・生産用機械〕



〔電気機械〕



〔パルプ・紙〕



雇用情勢

雇用情勢

緩やかに持ち直している

(3期連続据え置き)

○有効求人倍率はおおむね横ばいで推移しているほか、新規求人数は底堅く推移しており、雇用情勢は緩やかに持ち直している。

〔主なヒアリング結果〕

《労働局》

○新規求人数が減少しているのは、求人提出時期のずれや、前年の大型求人の反動などによるものが多く、様々な業種で人手不足の傾向は続いている。

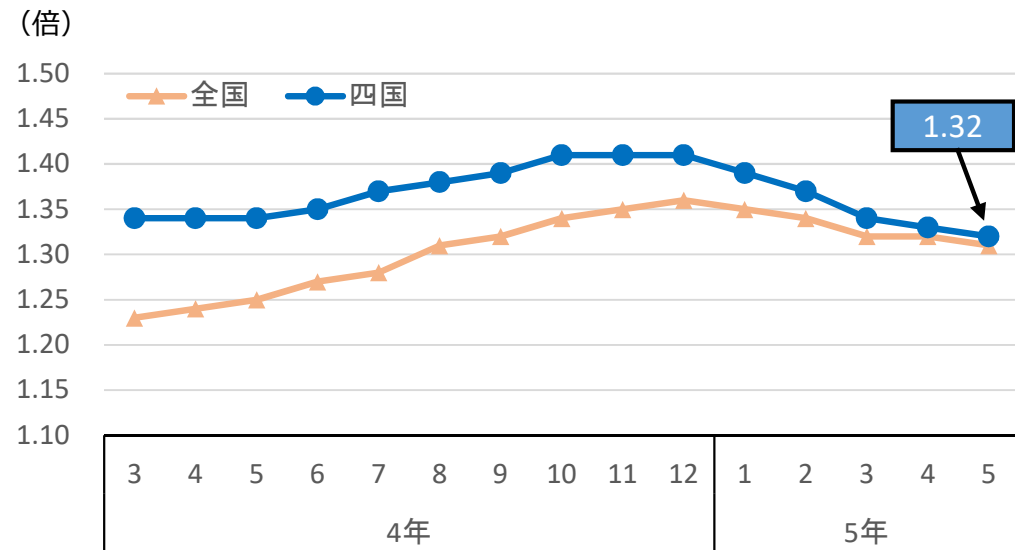
○物価高の影響もあり、より良い賃金を求め転職する動きがみられる。

○観光需要が回復している影響などによって、宿泊業や飲食業で求人数が増加している。

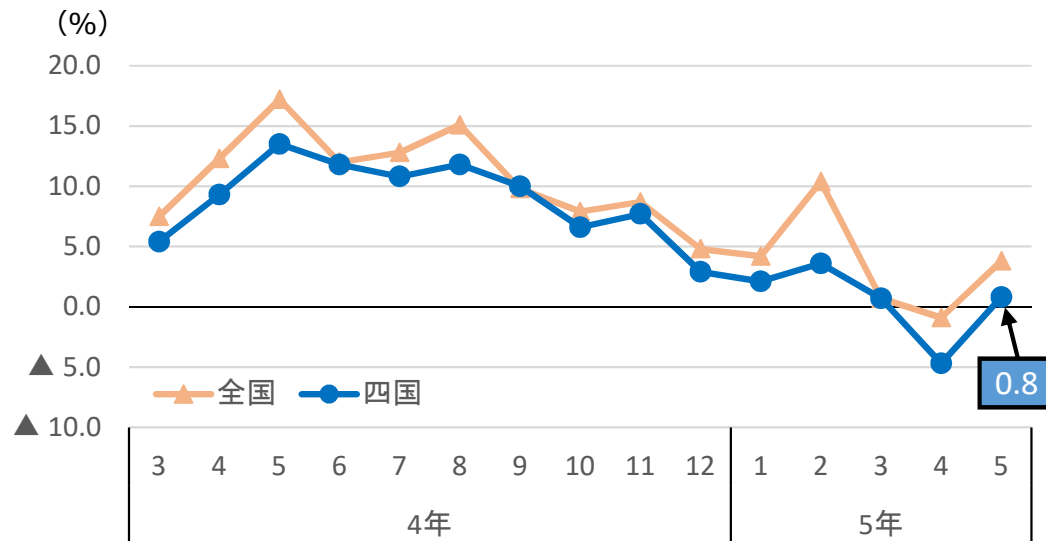
《小売業》

○人材確保に苦戦しているため、外国人労働者を採用するなど採用枠を広げたり、賃上げを行ったりしている。

〔有効求人倍率（季節調整値）〕



〔新規求人数（原数値、前年同月比）〕



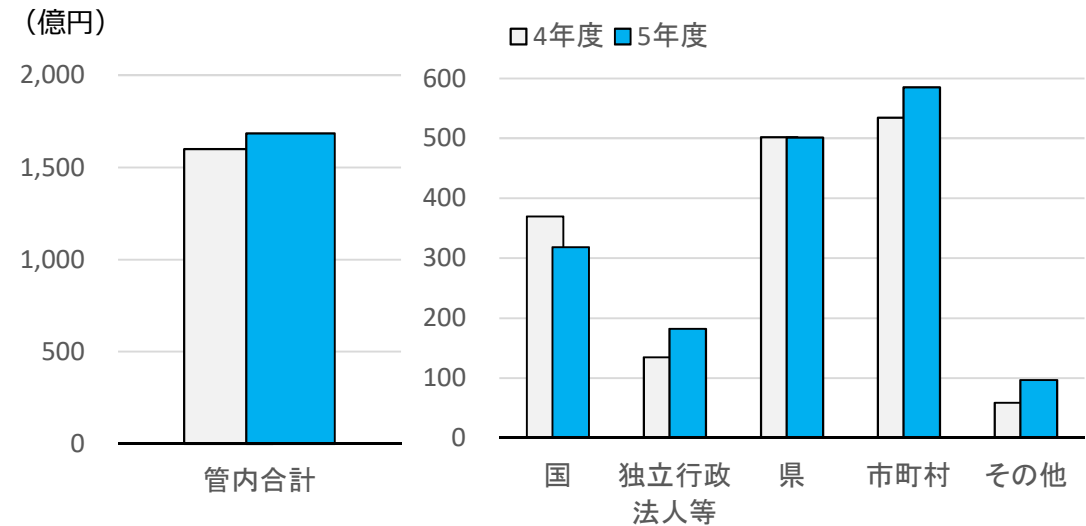
【出所】厚生労働省の公表データから算出

公共事業・住宅建設

公共事業 前年度を上回っている

○前払金保証請負金額でみると、国は前年度を下回り、県は前年度並みであるものの、独立行政法人等及び市町村は前年度を上回っていることから、全体としても前年度を上回っている。

〔四国の公共工事前払金保証請負金額（6月累計額）〕

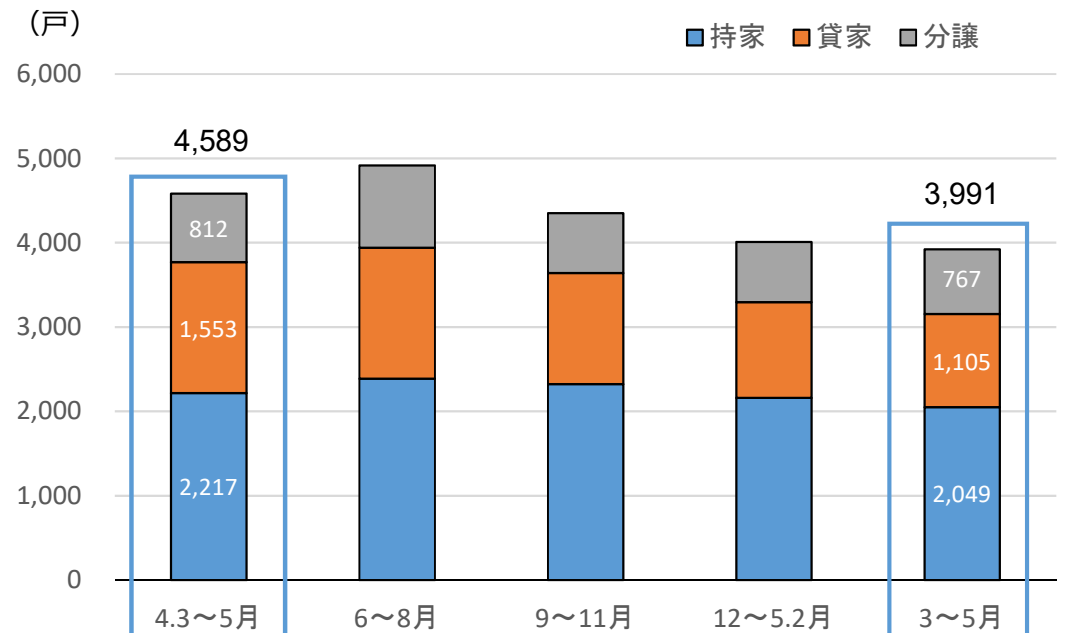


【出所】西日本建設業保証（株）等

住宅建設 前年を下回っている

○新設住宅着工戸数でみると、持家、貸家、分譲のいずれにおいても前年を下回っている。

〔四国の新設住宅着工戸数〕



※合計は給与住宅を含む

【出所】国土交通省の公表データから算出

〔主なヒアリング結果〕

○資材価格上昇による住宅価格の値上がりなどによって、住宅購入のマインドが低下している。

設備投資・企業収益・企業の景況感

設備投資

5年度は前年度を上回る見込み

○5年度の「設備投資」は、製造業及び非製造業で前年度を上回る見込みとなっており、全体としても前年度を上回る見込みとなっている。

企業収益

5年度は減益見込み

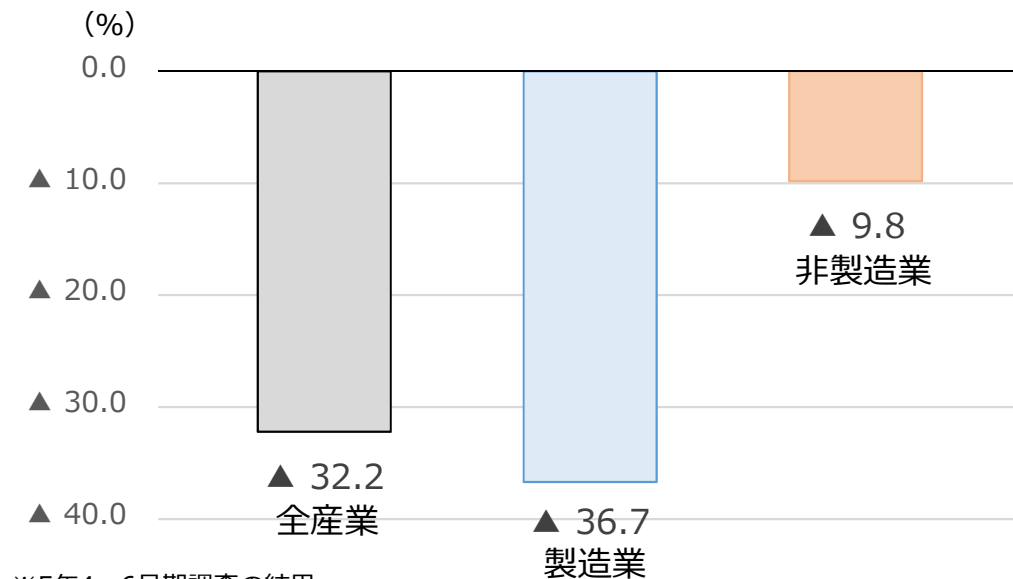
○5年度の「経常利益」は、製造業及び非製造業で減益見込みとなっており、全体としても減益見込みとなっている。

企業の景況感

「上昇」超

○5年4～6月期は、製造業で「下降」超となっているものの、非製造業で「上昇」超となっており、全体としても「上昇」超となっている。

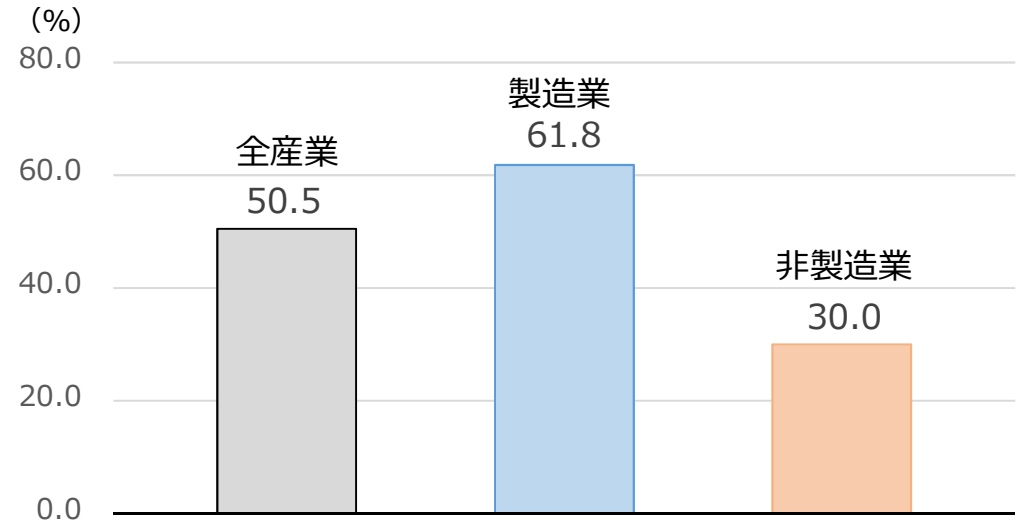
〔経常利益（四国、前年度比）〕



※5年4～6月期調査の結果

※「電気・ガス・水道」、「金融、保険」を除く管内に本社が所在する企業

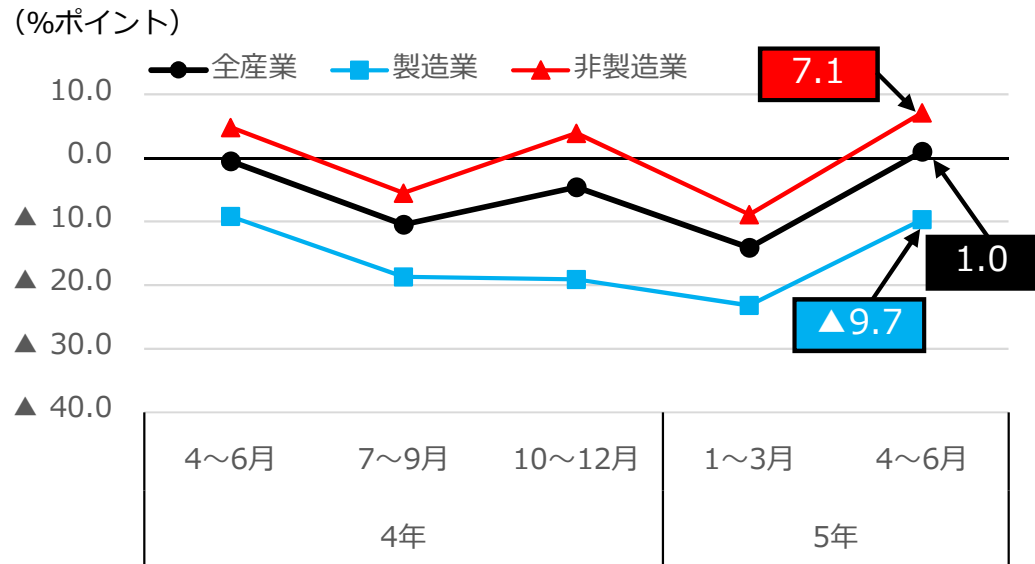
〔設備投資（四国、前年度比）〕



※5年4～6月期調査の結果

※ソフトウェア含む、土地除く

〔企業の景況判断BSI（四国）〕



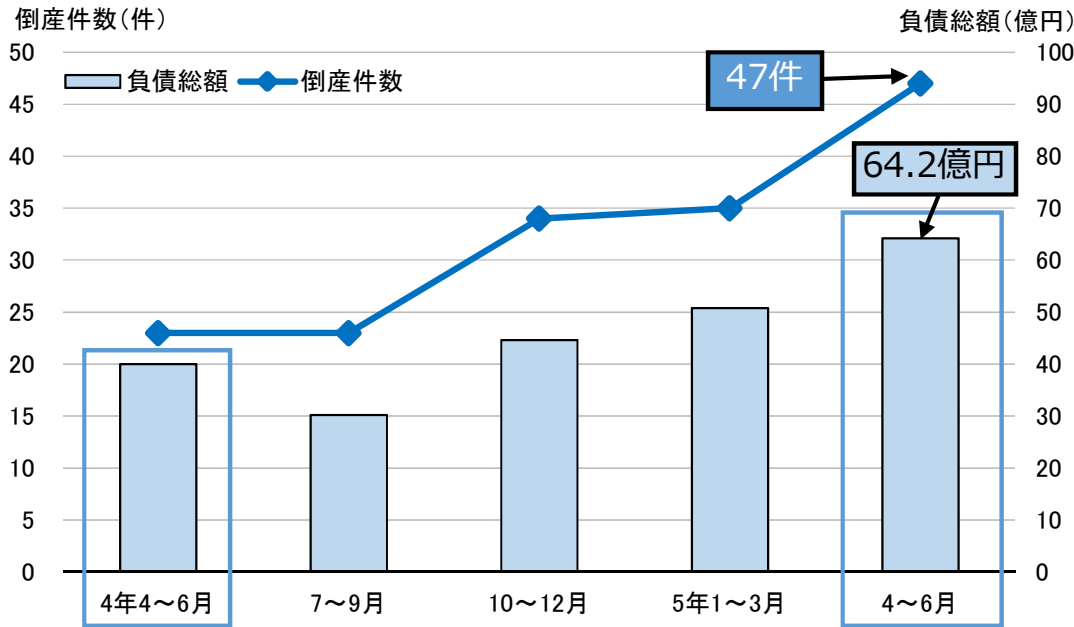
【出所】四国財務局（法人企業景気予測調査）

企業倒産・消費者物価（参考）

企業倒産

件数、負債総額ともに前年を上回っている

〔四国の倒産件数・負債総額（負債額1,000万円以上）〕

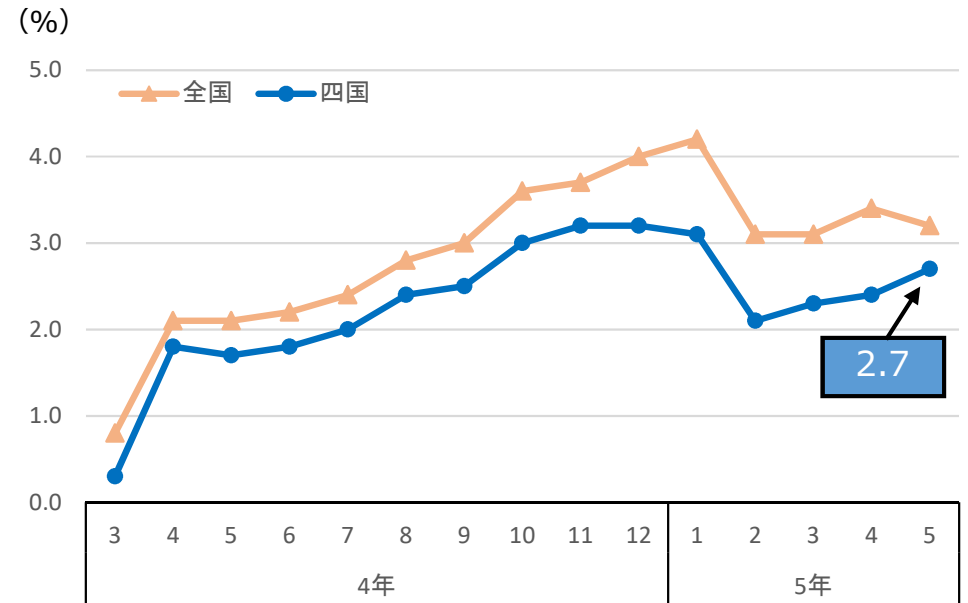


【出所】東京商工リサーチの公表データから算出

消費者物価

前年を上回っている

〔消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、前年同月比）〕



(2020年 = 100) 【出所】総務省

※計数は、季節調整替え、基準改定、速報の確報化、誤計数の判明等により、過去に遡って訂正される場合があるので、利用される場合は、各発表機関の直近の公表データをご確認ください。

■お問い合わせは

電話番号 087-811-7780

財務広報相談室（内線260）又は 経済調査課（内線250）へ

ホームページアドレス <https://lfb.mof.go.jp/shikoku/>

